

お肌の悩み 解決 BOOK

((((Micopellisでスキンケア))))

3

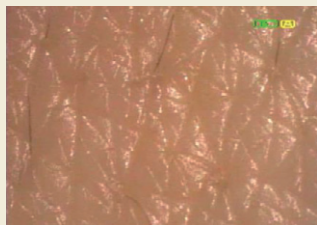
\ 敏感肌 /



敏感肌編

角質層を健康に保つ || バリア機能の備わった皮膚

正しいコルネオケアを行うと細やかでふっくらとしたキメが作れます。下に示す写真はデジタル顕微鏡スコープで撮影したものです。スコープで観察することで肌の状態を確認するだけでなく、コルネオケアの方法が正しく行えているかを観察することができます。Micopellisは30年間の月日をかけ、約8万枚の画像データを元に皮膚のトラブルに真剣に向き合い、その改善となる化粧品を開発を続けています。角質層を健康に保つことを意識することは敏感肌の予防や改善にとても役立ちます。



正常な皮膚

健康な肌はキメをみて判断できます。三角のキメがバランスよくととのい、ふっくらとした皮丘が確認できます。このバリア機能の整った皮膚は十分な水分を長時間キープすることができ、さまざまな皮膚トラブルを予防することができます。コルネオケアではこのような艶のある細かいキメを目指します。



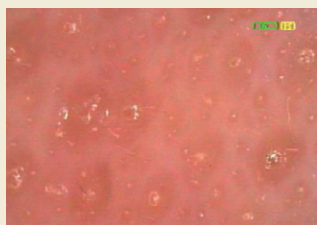
肥厚皮膚

角質が厚くなると三角のキメは柔軟性のない四角い大きなキメへと変化し、深いシワが作られやすくなります。毛穴も詰まりやすく、硬くくすんだ肌となります。代謝の悪い肌、または洗浄不足や保湿不足でこのような状態は作られます。



乾燥皮膚

エタノール量の多い化粧品の長期使用や洗顔時のお湯すすぎの回数、エアコンの環境など原因はさまざまですが、乾燥がすすむとイガイガとした痒みを感じ、湿疹やアトピー性皮膚炎の悪化にもつながります。



摩耗皮膚

角質層が摩耗し、キメが喪失してしまっている写真です。角質層を失った肌はバリア機能が低下し、いろいろなトラブルがあらわれます。画像では毛穴の開き、汗腺の開き、角栓、赤み、が確認できます。症状としては、ホテリがあり、脂浮きが目立ち、乾燥とツツパリ感を感じます。

アトピー、 アレルギー性皮膚炎

((((あなたはどのタイプ？))))

A・B・C

皮膚が薄い

摩擦が関係している
皮膚炎の特徴

- 赤みとほてり
- ツツパリ感
- 表面のテカリ

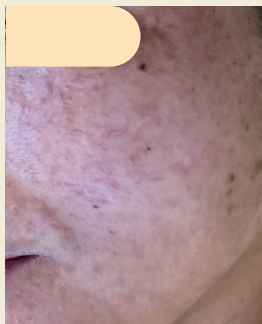


A

内部の乾燥

内部乾燥が関係して
いる皮膚炎の特徴

- ムズムズ感がある
- カサカサする
- 内部のほてり



B

赤みの丘疹

丘疹が関係している
皮膚炎の特徴

- ぼつぼつと出る赤み
- 痒みがあることも
- 赤く盛り上がる



C

A

洗浄作用の強い洗顔料、ピーリング剤の使用、洗浄時の力加減などによって角質層が摩耗し、赤みやホテリを悪化させている場合があります。コルネオケアにできることは皮膚表面からの摩耗状態を判断し、角質層の再生(キメの再生)を促し、健康な皮膚状態を作ることです。これにより長年悩んでいたアレルギー、アトピー性皮膚炎が軽減されるケースも多く、大変喜ばれています。*個人差があります。

Micopellis Corneocareのポイント…バランフォームでキメをふっくらと洗い上げ、水分を含みやすい状態を作ります。エタノール無配合のウルオイローション(弱酸性)と、細胞間脂質に馴染む保湿ジェルで長時間乾燥しにくい状態を作ります。ウルオイを取り戻した皮膚細胞は角質層の再生を順調にします。



B

洗顔時の使用法や刺激の強い成分(強い酸性の美白剤、強いアルカリ性の洗顔料、着色料など)や、アルコール、エタノール量の多いスキンケア用品によって水分が失われ、タルミやシワ、カサカサと皮が浮いたような皮膚状態が作られます。内部乾燥のある皮膚ではバリア機能が落ち、痒みを感じる神経が刺激を受けるため、腫れやホテリ、赤みの状態となります。また、湿疹などのアレルギー症状にも進行する場合があります。

Micopellis Corneocareのポイント…ミコベリス化粧品内の動画などに合わせ洗浄法などを細かくしっかりと守り、たっぷりの保湿を継続することで乾燥による痒みやホテリ、赤みなどが改善されやすくなります。



C

何らかの刺激により赤みの丘疹や痒みの症状が出る皮膚炎があります。物理的な刺激、アレルゲン、汗による刺激などでその症状が現れます。バリア機能が低下しやすい乾燥肌や敏感肌はその刺激に影響されやすくなります。

Micopellis Corneocareのポイント…痒みの強い湿疹がある場合などはすぐに皮膚科を受診します。内服と並行してコルネオケアを行います。洗顔はバランフォームを使用し、皮膚表面をふっくらと洗い上げます。ウルオイローションと保湿ジェルの浸透スピードによる接触も考え、場合によっては2つを掌で混ぜることで浸透スピードを遅らせる方法もあります。個人差が大きいののでカウンセリングのもと反応をみながら改善につなげます。状態によってはミコベリス化粧品を全く使用できない場合もあります。



「酒さ」のコルネオケアの経過

アトピー性皮膚炎

幼少期より、全身にステロイド外用薬とヘパリン類似物質クリームやローションを使用していらっしゃいましたが、改善していませんでした。



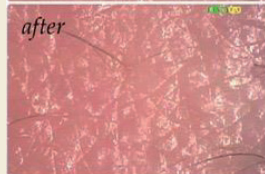
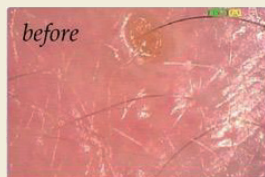
顔から肩にかけて赤み、腫れが見られます。顔、首、手にはコリもあり流れの悪い状態が確認できました。ミコペリスのホルネオケアとコリを取るセルフマッサージを実施していただき、約2週間で炎症が軽減しました。



また、幼少期からアトピー性皮膚炎のある方は、長年に渡りステロイド外用薬、ヘパリン類似物質クリームなどを使用されている方も多く、その外用薬には油分の多い基材が含まれており、それを長く使用することで毛穴の詰まりが起こりやすくなります。アレルギーなども毛穴から分泌される皮脂に馴染みやすく皮膚への刺激となる場合もあります。下の画像は長年ステロイド外用薬を使用していた人の頬骨辺りの画像です。

赤みのある浅いキメと毛穴に大きな角栓が確認できます。

※無断で複写、複製をお断りします。



Micopellis Corneocareのポイント

クレンジングクリームの正しい使用法をアドバイスし、毛穴のイガイガとした痒みが解消、ウルオイローションと保湿ジェルでキメの再生を促し、赤みも安定しました。

原因

このモデルさんは体全体が硬く、首や顔のコリも酷く、うっ血したような赤みは流れの悪さが原因の一つではないかと仮定し、サロンではリンパの流れに沿ったマッサージを行いました。施術後、赤みは激減。

2週間の経過過程の中では1進1退ありましたが、少しずつ安定したキメの状態が作られ、症状の軽減が見られました。

※アトピー性皮膚炎の状態の変化については個人差が大きく、全ての症状が軽減されるわけではありません。

Mico pellis取扱店

山梨県 肌質改善TOリンパケア【ターリア】

I.A.Cコルネオセラピスト資格取得

アロマリンパセラピスト協会理事

フランス植物療法医学協会認定マスターフィットセラピスト

《 コルネオセラピーの症例をご紹介します 》



アトピー性皮膚炎で長年悩まれていたお客様右頬・下部にむくみがあり赤みを帯びています。コルネオケア(角質療法)を行いながらむくみを丁寧にリンパの流れに沿って流し込んだところ赤みが解消され、頬のニキビも改善されました。10年以上続いていた、ステロイド外用薬も内服薬も今はやめられています。

※無断で複写、複製をお断りします。



2023年7月6日



2023年7月19日

肌質改善TOリンパケア【ターリア】ではお肌のトラブルの原因を探り根本からの改善を目指すお客様に寄り添ったフェイシャルケアをご提供しています。



敏感肌



肌が過敏に
なりやすい時



- ・乾燥している時
- ・アレルギー症状がある時
- ・免疫力が落ちている時

〈乾燥している時、免疫力が落ちている時の食事〉

- 腸内環境を整えることで、食べ物の栄養素を十分に吸収し、皮膚へ栄養を行き渡らせることができる
- 腸内環境を整えることで、腸内の善玉菌がふえ、消化吸収が正常に行われ免疫力がUPする
- ビタミンやミネラル、良質なタンパク質などの皮膚、皮膚の粘膜を作る食べ物をバランスよく摂取する

腸内環境を整える食品

乳酸菌

- 食物に含まれる「糖」を分解させる
ヨーグルト、チーズ、キムチ、
ぬか漬け、味噌

プレバイオティクス

- 乳酸菌のエサになる
ごぼう、にんじん、納豆、海藻、
きのこ、果物

食物繊維

- 便の量をふやす、腸内細菌のエサとなる
雑穀米、納豆、おから、根野菜、
しいたけ、ひじき、わかめ、もずく、めかぶ

食べる時のポイント

乳酸菌を摂る時には、乳酸菌を増やすためのエサとなるプレバイオティクスが含まれる物を一緒に摂ることをオススメします。納豆・キムチ、ヨーグルトと果物、味噌汁にごぼうやにんじん、きのこなどの野菜を入れる、にんじんスティックに味噌をつけて食べる、など食物繊維の中でも、海藻類・ごぼう・キウイ・バナナなどの水溶性食物繊維は腸の中で水分を含み便を柔らかくし、便通をよくしてくれます。食べ過ぎにも注意が必要です。乳酸菌以外の栄養素のことも気にします。例えば、ヨーグルトには脂質や糖分が多く含まれる、キムチや味噌には保存するために塩が多く使われている、など、取りすぎると逆に肌トラブルを起こしてしまうこともあります。少しずつ色々な種類を毎日こまめに摂ることがベストです。

ビタミン類

ビタミンA

- 皮膚や粘膜のうるおいを健やかに保つ、角質層に含まれる天然保湿因子(NMF)の生成を促す
にんじん、かぼちゃ、小松菜、海藻類、卵黄

ビタミンB2

- 脂質の代謝、皮膚や粘膜などの細胞の再生
納豆、卵

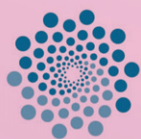
ビタミンC

- コラーゲンの生成、皮膚の粘膜を作る
柑橘類などのフルーツ、小松菜、ブロッコリー、赤ピーマン アレルギー症状がある時
- ・ヒスタミンに似た働きをする物質を多く含む食材に注意する
- ・血管拡張しやすい食べ物に注意する

注意食材

- ヒスタミンと似た働きをする物質を含む食材
・さば、サケ、イカ、エビ、豚肉、そば、牛乳・乳製品…かゆみの誘発、アレルギー症状の悪化
・たけのこ、ごぼう、なす、トマト、さといも、ほうれん草…かゆみの誘発
- 血管の拡張に繋がるもの ・アルコール…血管拡張、発汗、皮膚のほてりによるかゆみの発生・悪化
- 辛いもの 唐辛子やキムチ、カレーなどのスパイス…血管を拡張する作用がある

これらのものは、食べ過ぎ、他のアレルギー症状が出ている時に食べることに注意する。
又は、毎日続けて食べるのではなく、日にちを空けて食べる。



Mico pellis

CORNEOTHERAPY

～「健やかな素肌」をお届け～

30年のキメ画像のデータをもとにコルネオケア(角質療法)を目的として研究開発されたミコペリス化粧品は老若男女問わずご家族でご使用いただけます。全身の保湿剤としてもお使いください。また、美しいキメを作る効果を最大限に生かすために使用量と使用法を守って頂くことも大変重要です。

ミコペリス化粧品
使用方法については ▶
こちらから



問い合わせ

シーズコスメ

cs-cosme39@po3.synapse.ne.jp